

農業農村工学会誌 第80巻9号

目次

ページ	
巻頭	ごあいさつ 塩沢 昌
1	展望 水土・環境観測の最前線によせて 登尾浩助
3~27	小特集 水土・環境観測の最前線
3	レーザー距離計を用いた現場土水路の水路床勾配の計測方法 廣内慎司・廣瀬千佳子・團 晴行
7	農家参加型モニタリングによるリンゴ栽培技術の継承 加藤 幸・岸 知彦・佐藤江里子・溝口 勝
11	携帯電話通信網を利用したフィールドデータ伝送システム 繁永幸久・高橋英紀
15	水土動態予測のための表計算ソフトウェアによるモデリング 粟生田忠雄・登尾浩助
19	災害復旧における環境配慮対策のための環境情報管理の課題 北澤大佑・守山拓弥・三塚牧夫・山本徳司
23	農業農村の振興と活性化に及ぼす事業効果算定手法の開発 木下貴裕・小原利勝・山本拓郎・川上敏幸
29	報文 国営かんがい排水事業「最上川下流沿岸地区」の更新整備 及川和彦・田中繁世・佐藤 毅・杉本幸雄
33	レポート エジプトにおける灌漑管理移転のための制度改革 北村浩二
38~49	技術レポート
38	北海道支部：浦臼幹線用水路における流動化処理工法の施工 内田典邦・大矢有二・下川昇大
40	東北支部：新鳴瀬橋の機能診断と保全対策 森田政博・一戸新輝・木村康祐
42	関東支部：高強度コンクリートパネルによる頭首工エプロンの補修事例 太田純治
44	京都支部：開削型シールド工法による大断面排水路の施工 大谷 寛・松井久一
46	中国四国支部：降水量と気温を用いた積雪深の推定方法 橋本敏行・宮本博文・有森正浩
48	九州支部：自立式杭壁工法による貯水池の施工 多和田真澄・宮城 靖
50	小講座 フィールドモニタリングシステム 溝口 勝
51~66	コミュニティ・サロン
52	私のビジョン 育児休業からの復帰大作戦!! 武藤由子
55	スクール便り 農業土木科から環境工学科へ —佐賀県立佐賀農業高等学校 環境工学科— 池田益規
57	Cover History 雲仙岳噴火災害から甦った島原深江 —表紙写真由来— —長崎県島原市・南島原市— 江口徳郎
59	水利遺産探訪 三ヶ村堰の用水管理の経緯（その1） —八ヶ岳南麓の農業水利⑨— 松本精一
61	通信教育 技術者継続教育機構 第84回通信教育問題
64	ニュース 学会ニュース
66	国内ニュース
67	インフォメーション・コーナー

輝く復興した島原・深江の夏景（江口徳郎）

噴火で壊された農業景観が、何もなかったかのような生き生きとした景観としてよみがえった。写真の深江町も平成の合併で2006年に南高来郡内の7町と対等合併して南島原市を成す一地区となった。雲仙普賢岳の噴火は1990年に始まり、翌年の火砕流の発生によって大被害もたらされた。93年になって警戒区域が一部緩和され復旧事業が開始、農業基盤の整備がなされて2001年以降には営農が本格的に再開された。ハウスの導入によって果樹、野菜、花きなど、従来にも増した多種多様な生産が行われるようになっているそうだ。綺麗に並んだハウスの光景が、その復興ぶりをうかがわせる。山の姿も美しい。しかし東日本の震災・津波は私たちの自然観をつよく



公益社団法人 農業農村工学会

2012
VOL-80

9

WATER,
LAND AND
ENVIRONMENTAL
ENGINEERING

Feature Section : Leading-edge Observational Technique of Water, Soil, Environment and Fields

How to Measure a Grade of Earth Canal on Site by Using Laser Range

HIROUCHI Shinji, HIROSE Chikako and DAN Haruyuki.....3

Inheritance of Apple Cultivation Technique by Field Monitoring with Farmers Participation

KATO Koh, KISHI Tomohiko, SATO Eriko and MIZOGUCHI Masaru.....7

Field Data Transmission System by Using Cell-phones Digital Telecommunication Network

SHIGENAGA Yukihisa and TAKAHASHI Hidenori.....11

Modeling of Soil Water Dynamics Using a Spreadsheet

AODA Tadao and NOBORIO Kosuke.....15

Subject of Environment Information Management for Conservation of Environment in Disaster Restoration

*KITAZAWA Daisuke, MORIYAMA Takumi,
MITSUZUKA Makio and YAMAMOTO Tokuji*.....19

Development of the Calculation Method of Projects Effect That Affect an Activation of Agriculture and Rural

*KINOSHITA Takahiro, KOHARA Toshikatsu,
YAMAMOTO Takuro and KAWAKAMI Toshiyuki*.....23

Paper

Improvement of the National Irrigation and Drainage Project "Mogamigawakaryu-engan District"

*OIKAWA Kazuhiko, TANAKA Shigeyo,
SATO Tsuyoshi and SUGIMOTO Yukio*.....29

Report

Institutional Reform for Irrigation Management Transfer in Egypt

KITAMURA Koji.....33

Technical Reports

Construction of the Urausu Irrigation Canal Using a Liquefied Soil Stabilization Method

UCHIDA Norikuni, OOYA Yuji and SHIMOKAWA Shota.....38

Functional Diagnosis and Maintenance Measures of the New Naruse Bridge

MORITA Masahiro, ICHINOHE Yoshiteru and KIMURA Kosuke.....40

Repair Example of Headwork Apron Using High-strength Precast Concrete Panels

OTA Junji.....42

Construction of Large Cross-sectional Drainage Channel by Open Shield Method

OOTANI Hiroshi and MATSUI Hisakazu.....44

Estimation of the Snow Depth Using the Data of Precipitation and Temperature

HASHIMOTO Toshiyuki, MIYAMOTO Hirofumi and ARIMORI Masahiro.....46

Construction of the Reservoir by an Independence Type Stake Wall Construction Method

TAWATA Masumi and MIYAGI Yasushi.....48

Technical Word

Field Monitoring System (FMS)

MIZOGUCHI Masaru.....50

「打った。不動のものではなく、絶えず活動をしていること、その活動も百年や千年といった時間の中で顕在化し人間を動かすこと、そうした人間活動のサイクルを超えた存在としてあるのだという畏敬感をあらためてもたらされることにもなったのである。だからこそ、整然と並んだビニールハウスが美しく見える。屈しないから美しいのではなく、そのけなげさに、か細さを感じさせられる美しいという実感がひしひしと寄せてくるのである。」
(講評 東京造形大学名誉教授 柳本尚規)